

令和5年6月2日(金)

## 一流の人はトイレ掃除をしている

芸能界ではビートたけしさんや和田アキ子さん、タモリさん、プロゴルファーの石川遼選手、メジャーリーグトロント・ブルージェイズの菊池雄星投手。そして、パナソニック（松下電器）創業者の松下幸之助さんや、ダスキン創業者の鈴木清一さんなど、一流の方々が大事にしているという習慣を知っていますか？

それは「トイレ掃除」です。

菊池雄星投手は、花巻東高校野球部に入部以来ずっとトイレ掃除をやり続けたといいます。トイレ掃除といっても素手で便器を磨くという徹底ぶりです。菊池投手を育てた佐々木監督は「嫌なことから逃げないでやるのが精神を鍛える」とおっしゃっていました。そんなトイレ掃除を、菊池投手は笑顔で喜んで、進んで取り組んでいたということです。菊池投手は「自分が毎日使うのですから感謝しながら掃除して当然ですよ」と言っていました。

トロント・ブルージェイズの菊池投手と花巻東高校野球部の後輩であるロサンゼルス・エンジェルス大谷選手が初対決した日、現地の新聞『ロサンゼルス・タイムズ』は試合後に「ショウヘイ・オオタニとユウセイ・キクチが、トイレ掃除からメジャーリーグの夢を叶えるまで」と題した記事を電子版に掲載しました。記事では、野球部員が寮生活を送る花巻東高校では、投手がトイレ掃除を分担するエピソードが紹介されており、「オオタニはキクチが高校3年間の最初の1年でつけた背番号17を継承し、更にオオタニはトイレ掃除の仕事も継承した」と、書かれていました。

また、イエローハット創業者の鍵山秀三郎（かぎやま ひでさぶろう）さんもトイレ掃除を習慣としている一人です。鍵山さんは、会社を創業したときは、なかなか売り上げが伸びなかったそうです。そこで、社内の掃除を社長自ら始めました。特にトイレは素手で念入りに磨くようにしました。それからしばらく経つと、一緒に掃除する社員も増え、社内の雰囲気は穏やかになり、会社の売り上げも伸びていったそうです。

皆さんも、一流と言われる人の「トイレ掃除」に学びましょう。